

単元名 ミシンにトライ！手作りで楽しい生活

配当時間 11 時間

- 単元の目標 (1) ミシン縫いによる製作に関する、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることができる。
 (2) ミシン縫いによる製作について、課題を見付け、それらの課題の解決を目指して、製作計画を考え、製作を工夫することができる。
 (3) ミシン縫いによる製作の知識及び技能を身に付けようとしたり、製作計画や製作をよりよく工夫しようとしたりする。

標準的な展開例

05090302_001

【準備等】布見本、布製品見本、段階見本、製作計画表、ミシン、裁縫用具

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 ミシン縫いのよさを見付ける。 ★ミシンでぬわれた物の特徴を見付けよう ○ 学校生活で使っている布製品を観察し、分かったことを話し合う。 ・くり返し洗って使える。・物の形に合わせられる。 ○ 手縫いとミシン縫いの特徴を理解する。</p> <p>○ 布製品の特徴をまとめる。</p> <p>2～4 ミシン縫いの基本操作を知り、直線縫いの練習をする ★ミシンの使い方を知ろう ○ ミシンの各部の名前を覚える。 ○ 針の付け方、外し方を練習して、空縫いをする。 ○ 下糸の巻き方、出し入れの仕方を練習する。</p> <p>○ 上糸のかけ方と下糸の引き出し方を練習する。 ○ 直線縫いの練習をする。</p> <p>5～6 製作する物を決めて、製作計画を立てる。 ★生活に役立つ物を作る計画を立てよう ○ 布製品の手触りや厚み、縫い目などを観察する。</p> <p>○ 製作計画を立てる。 ・製作する物 ・用途 ・材料 ・用具 ・縫い方と手順</p> <p>7～10 計画に従って製作する。 ★生活に役立つものを作ろう ○ 製作の手順を確認する。 ・型紙を作る。・しるしを付ける。・布を裁つ。 ・ぬう。 ・アイロンをかけて仕上げをする。 ○ 手順に従って製作する。</p> <p>○ 困ったことや気付いたことなどを周りの人に教え合う。</p> <p>○ 作品の仕上げをする。 ・糸の始末 ・アイロンがけ</p> <p>11 世界に一つだけの作品を楽しく使う。 ★手ぬいやミシンぬいの作品やぬい方を生活に生かそう ○ 製作した作品について話し合う。</p> <p>○ 友達のを参考に、ミシンを使って作りたい物を考える。</p>	<p>・ p. 68の写真を参考にしたり、あらかじめ家庭で調べさせたりするとよい。</p> <p>・ 手縫いとミシン縫いの作品を見せ、縫い目の特徴やそれぞれの縫い方のよさ、どんな場面で使われているかを考えられるようにする。 【評】布製品と手縫いやミシン縫いの特徴を話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ p. 69「資料1」と「資料2」の内容を押さえる。</p> <p>・ 実物を触りながら確認できるようにする。 ・ 必要に応じて個別指導をする。 ・ ペアやグループなどで伝え合いながら練習させ、p. 71の練習カードを参考に評価をするようにする。</p> <p>・ 返し縫いと角を曲がる方法も練習する。 ・ p. 73の「きんちゃくぶくろ」や「ぞうきん」を作らせることで直線縫いの練習をさせるのもよい。 【評】ミシン縫いの基本操作をする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 作品の製作に適した布を考えられるようにする。 ・ 児童の技能に合った計画になるように、助言する。 【評】製作計画を立てる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 実物見本や段階見本を用意して、製作の見通しをもたせる。 ・ 布を効率的に使うように型紙の置き方を工夫させ、布を裁つ前には必ず教師が点検する。</p> <p>・ 手順を示範するようにする。 ・ 困ったときは、p. 144～145「ミシンのあつかい方のポイント」や、二次元コードを読み込み、動画で確認するよう伝える。 【評】布製品を製作する活動を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ p. 142「アイロンのかけ方」について指導を徹底する。</p> <p>・ どのように生活に役立たせるか、生活を楽しくできるかの視点をもたせられるとよい。 【評】作品についての話し合い活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ ミシン縫いのよさや作品の縫い方を生かした新たな作品を考えるよう伝える。 【評】作りたい物を考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>